

計画推進評価部会における意見と県の対応

資料3

プロジェクト名	NO	委員名	意見	県の対応（案）
3 高齢者福祉	1	能登委員	孤立の高齢世帯について、高齢者が社会とのつながりを持って生活していけるよう、取組みを行っていく必要があります。	事業実施の中で参考とさせていただきます。
3 高齢者福祉	2	能登委員	要介護・要支援認定を受けていない方がすべて「元気な高齢者」であるとは言い難く、未病の状態にある方も多いため、未病の概念を取り入れた介護予防を進めていく必要があります。	評価報告書の記述を修正しました。事業実施の中で参考とさせていただきます。
6 産業創出	1	内田委員	これまでもベンチャー企業の支援などに積極的に取り組んできているが、成長分野や社会的な課題解決に取り組む分野の創出・育成につながるよう、一層ベンチャー企業の支援などに取り組んでいく必要がある。	二次評価（案）に反映しました。
22環境 23都市基盤	1	岩田（知）委員	「やや遅れています」と評価されたものについては、取組みの改善など今後の対応を図っていく必要がある。	評価報告書の記述を修正しました。事業実施の中で参考とさせていただきます。
全体	1	伊達委員	量的な評価のみでなく、経済的効果や社会的インパクト評価、副次的効果も含め、質的な評価による検証についても検討していく必要がある。	次期計画に向けて検討いたします。
全体	2	原嶋委員 岩田（知）委員 岩田（美）委員	評価の区分について、基準を記載するなど、評価する者が共通の認識のもとで評価しやすくなるよう検討する必要がある。	進行管理の課題として今後の参考とさせていただきます。
全体	3	山本委員	『総合計画審議会の評価』の記載について、「柱Ⅱ 経済のエンジン」には、「経済」という主題に一層馴染む指摘として、中小企業の海外展開の支援などの要素を加える必要がある。	評価報告書の記述を修正しました。

プロジェクト名	NO	委員名	意見	県の対応(案)
全体	4	平田委員	山本委員の意見（『総合計画審議会の評価』の記載について、「柱Ⅱ 経済のエンジン」に、「経済」という主題に一層馴染む指摘を加える）への補足として、国際交流の重要性に関する県民意識への指摘の記載も、なお重要な課題であることから残しておく必要がある。	評価報告書の記述を修正しました。
全体	5	松行委員	『総合計画審議会の評価』の記載について、「やや遅れている」と厳しい評価をされているプロジェクトについては、指摘を加える必要がある。	評価報告書の記述を修正しました。
全体	6	山本委員	「数値目標の達成状況」は評価のモノサシの1つということなのであれば、表現を「主な数値目標の達成状況」に改めるなど、数値目標の掲載の趣旨が伝わりやすくなるよう検討する必要がある。	進行管理の課題として今後の参考とさせていただきます。